



報道各位

平成 21 年 10 月 2 日

**今年のCMグランプリ候補（テレビCM10本・ラジオCM3本）が決まる！**

**総務大臣賞／ACC グランプリ及びランキングは  
11月4日の贈賞式で発表！**

社団法人 全日本シーエム放送連盟

社団法人全日本シーエム放送連盟（略称 ACC：東京都港区、理事長：永田 圭司）では、今年の第 49 回 ACC CM フェスティバル（正式名称「2009 49th ACC CM FESTIVAL」）に応募された CM 作品 2,375 点（内訳 テレビ：1,675 作品 ラジオ：700 作品）の中から、今年のテレビ CM ベスト 10 本・ラジオ CM ベスト 3 本（テレビ ACC 総務大臣賞／グランプリ・ゴールド）など入賞作品を決定しました。総務大臣賞／ACC グランプリをはじめ、ベスト 10・ベスト 3 の順位は 11 月 4 日に開催される贈賞式にて発表します。

**<テレビCM グランプリ候補（総務大臣賞／ACC グランプリ・ゴールド）10本>**

広告主	商品／題名	広告会社	制作会社
相模ゴム工業	サガミオリジナル 0.02／LOVE DISTANCE	GT/ロックンロール・ジャパン	ロックンロール・ジャパン
大和ハウス工業	なんでダイワハウス？／「ダイワハウスが言えない男」他 1 篇	TUGBOAT/博報堂	東北新社
トヨタ自動車	こども店長／「ファッションショー」他 3 篇	電通/石川広告制作室/ワンスカイ	太陽企画
小原歯車工業	小原歯車工業／「きしむ人々・キッチン」他 1 篇	ビルド・クリエイティブハウス	電通クリエイティブX
江崎グリコ	OTONA GLICO／「再会」他 3 篇	シンガタ/電通/電通 関西支社	東北新社
読売新聞	読売新聞(駅伝・お正月家族)／「セキュリティ」他 3 篇	シンガタ/電通	ギークピクチャーズ
富士ゼロックス	富士ゼロックス／Balloon 篇	TUGBOAT/電通	東北新社
サントリーホールディングス	BOSS／宇宙人ジョーンズ「地上の星」「刑事」他 2 篇	シンガタ/ワンスカイ/電通	東北新社/ギークピクチャーズ
リクルート	ホットペッパー／スヌーピーとカエラ	電通 関西支社/ワトソン・クリック	春企画
サントリーホールディングス	プロテインウォーター／マッチョA	電通/ワトソン・クリック	東北新社

**<ラジオCM ベスト3本（テレビACC 総務大臣賞／グランプリ・ゴールド）>**

パナソニック	パナソニック／欲しいものがいっぱいあった		福本ゆみ事務所
パナソニック	ナイトスチーマー／寝ても覚めても		福本ゆみ事務所
味の素	アミノ酸いきいき充実／「商談」「お見合い」「英語の授業」「アニキ」	アサツディ・ケイ	エフエム東京

※詳細は入賞作品リストをご覧ください。



ACC CM フェスティバルは 1961 年に創設された、わが国で最も規模が大きく、最も権威のある CM コンクールとして知られています。本年の全国審査は 9 月 3～4 日、10～11 日の 4 日間にわたって東京プリンスホテル／ザ・プリンス パークタワー東京で行われ、佐々木宏・審査委員長をはじめとする審査委員<別紙注\*1>が厳正な審査を行いました。審査委員長による審査講評は<別紙\*注2>に掲載しております。

なお、CMでの演技力が評価される演技賞には、朝青龍明德 (Fanta・ファン太郎)、加藤清史郎 (オールドヨタ・こども店長)、木村カエラ (リクルート・ホットペッパー、クレハ NEW クレラップ)、Tommy Lee Jones (BOSS・宇宙人ジョーンズ)、役所広司 (ダイワハウス) が見事獲得されました。

入賞作品の贈賞式は、来る 11 月 4 日 (水)、ザ・プリンス パークタワー東京にて総務大臣 (予定) を迎えて行われ、その席上で今年の総務大臣賞／ACC グランプリをはじめ、ベスト 10・ベスト 3 の順位、ジャーナリスト賞<別紙注\*3>を発表します。なお、今年度の入賞作品は 11 月 11 日 (水) の東京・有楽町朝日ホール (マリオン) を皮切りに、全国 30 ケ所で上映・公開されます。

以上

この件に関するお問い合わせは、ACC 事務局 江川・古川までお願いいたします。

社団法人全日本シーエム放送連盟

〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263

URL <http://www.acc-cm.or.jp>



※ 参考資料

<注\*1> 【2009 49th ACC CM FESTIVAL 審査員メンバー】(敬称略、順不同)

審査委員長

佐々木 宏

<プロフィール>シンガタ クリエイティブ・ディレクター

1977年電通入社。2003年「シンガタ」設立。仕事はSoftBankの全キャンペーン。SUNTORY BOSSを18年、JR東海「そうだ、京都 行こう。」を10年、江崎グリコ「OTONAGLICO」等。

テレビチーム審査員

小田桐	昭	堀井	博次	宮崎	晋
坂田	耕	岡	康道	多田	琢
澤本	嘉光	大貫	卓也	中治	信博
児島	令子	白土	謙二	箭内	道彦
黒須	美彦	福里	真一	古川	裕也
森本	千絵	永見	浩之	谷山	雅計
中島	信也				

ラジオチーム審査員

林屋	創一	福本	ゆみ	中山	佐知子
安西	俊夫	井田	万樹子		

特別審査員

茂木 健一郎

脳科学者

NHK「プロフェッショナル」キャスター。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。「クオリア」をキーワードとして脳と心の関係を研究。

天野 祐吉

コラムニスト

TBS「NEWS23」にコメンテーターとして出演。元「広告批評」編集長。朝日新聞に「CM天気図」連載中。著書に「広告論講義」「ぼくのおじいちゃんのかお」等。

小山 薫堂

放送作家

「料理の鉄人」「THE 世界遺産」などを手がけ、初の映画脚本作品「おくりびと」が第81回米アカデミー賞外国語部門賞を獲得。

佐藤 可士和

アートディレクター

主な仕事に SMAP、NTT ドコモ、ユニクロ、UT STORE HARAJUKU、国立新美術館等。著書に「佐藤可士和の超整理術」(日本経済新聞出版社)。

齋藤 孝

明治大学文学部教授

NTV「世界一受けたい授業」、TBS「情報7days ニュースキャスター」に出演。著書に「声に出して読みたい日本語」等、多数。



<注\*2>

【入賞理由 グランプリ候補（総務大臣賞／ACCグランプリ・ゴールド）】

審査委員長 佐々木 宏 氏

【講評】

気合い十分の審査会でした。殿堂入りの各氏、小田桐、堀井、坂田、宮崎の四天王も、タグボートの二人も、そして、大貫卓也も帰ってきてくれた。いずれ劣らぬ俊英強者たち25人が、審査委員として一同に集まったことが奇跡。さらに、最終日にお呼びした、特別審査委員の茂木健一郎、小山薫堂、天野祐吉、齋藤孝、佐藤可士和の5名の皆さんが、これまたグサリとくるような辛辣なご意見と、目が覚めるような新鮮な提言を頂いたことに心から感謝です。多くの審査委員たちから、今年の審査会は、いや、実に面白かった刺激を受けた、など、誉められました。これまでと違って、今年のベスト10を決める。そして、それを広告業界の内輪の誉め合いにとどまることなく、テレビの前の人たちや、クライアントの皆さんなどにしっかり伝えて、関心を持っていただく。このベスト10の発表自体が、日本の広告の「広告」としても機能できるようにすることが、最大の目的です。

この10本は、果たして、不況ニッポンの象徴のような、レベルの低い10本なのか。それとも、政権交代した日本の政治が大きく変わろうとしているように、日本の経済や社会に大きな影響を与えるような新しいセンスとエネルギーを発見できる10本なのか。私たち30人が選んだ今年のテレビCMベスト10候補のゴールド。シルバー10本。ブロンズ30本、そして、ラジオのベスト作品たち、はこれです。

【今年度 ACC CM FESTIVAL 概要】

名 称 : 「2009 49th ACC CM FESTIVAL」

全国から応募された 2,375 点（内訳 テレビ 1,675 作品・ラジオ 700 作品）の CM 作品の中から 182 作品が入賞。テレビ CM ベスト 10・ラジオ CM ベスト 3 が決まりました。

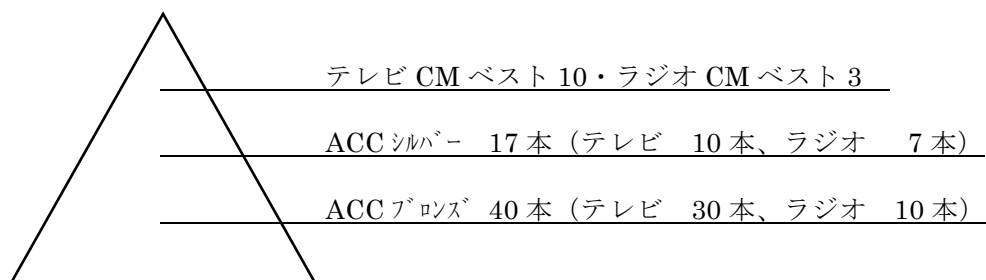
審査対象 : 2008 年 7 月 1 日から 2009 年 6 月 30 日までに日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたテレビ・ラジオCM

地域審査会 : 8 月上旬に全国 7 地区で審査

全国審査会 : 9 月 3～4 日、10～11 日

贈賞式 : 11 月 4 日 ザ・プリンス パークタワー東京

入賞作品発表会 : 11 月 11 日東京・有楽町朝日ホールを皮切りに、全国 30 ヶ所にて順次開催されます。

**【入賞作品（182本）の内訳】 \*入賞作品は全応募数（2,375本）の約7.7%**

ACCファイナリスト 112本 (テレビ 80本、ラジオ 32本)  
※その他、ACC地域ファイナリスト 171本 (テレビ 112本、ラジオ 59本)

\*各賞の詳細はをご参照ください。

**<注\*3> 【ジャーナリスト賞】**

わが国において放送されたテレビおよびラジオのコマーシャル（CM）の中から、最も時代性・社会性を反映し影響力のあった作品を、ジャーナリストの立場から選考・顕彰することによって、国民生活の一層の向上と放送文化の健全な発展に資することを目的に2000年度より新設。今年で10回目を迎えました。選考委員は朝日新聞・産経新聞・東京新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞の一般紙、共同通信・時事通信の通信社、サンケイスポーツ・スポーツニッポン・スポーツ報知・日刊スポーツのスポーツ紙の計12社の学芸部・文化部・文化社会部の部長等が務めます。今年度の選考委員長は木俣 自明氏（報知新聞東京本社スポーツ報知編集局文化社会部部长）でした。

本賞の発表は贈賞式席上で行います。

以上